

(別紙5)

整理番号 2021P-749

補助事業名 2021年度 緊急的な対応を必要とする事業

(新型コロナウイルス感染症の拡大防止策)補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 諫早なかよし村21

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

- ・顔認証体温測定システム端末計3台、テント2張りを導入することで、3密を回避し感染予防に努める。
- ・パルスオキシメーター2個を導入することで、施設利用者と職員の体調を確認し適切な対応を行い、感染予防・拡大防止に努める。

### (2) 実施内容

(<http://knybtmr.blog.fc2.com/archives.html>) ※2022年3月4日掲載

- ・顔認証体温測定システム端末2台は、「このゆびとまれ」に設置する。  
1台は玄関入り口に設置、もう1台はフロアーの入り口に設置する。段階的に設置することで玄関口付近での密状態を回避する。
- ・顔認証体温測定システム端末1台は、「このゆびとまれ」カレッジの部屋の入口に設置し、玄関付近での密状態を回避する。
- ・テント2張りを導入することで、室内での密状態を防ぎ、屋外活動の有効化を促進し感染予防に努める。
- ・パルスオキシメーター2個は、「このゆびとまれ」で使用し、体調管理を行う。

顔認証体温測定システム端末 「このゆびとまれ」玄関入り口にて使用



(別紙5)

顔認証体温測定システム端末 「このゆびとまれ」 フロアー入り口にて使用



顔認証体温測定システム端末

「このゆびとまれ」 カレッジの部屋の入口にて使用



テント 大 小 各1張 「このゆびとまれ」にて使用



(別紙5)

パルスオキシメーター 2個 「このゆびとまれ」にて使用



2 予想される事業実施効果

「このゆびとまれ」では、玄関入り口から段階的に2か所に顔認証体温測定システム端末を設置することで、混雑することなくスムーズに入所することができ、「このゆびとまれ」カレッジにおいても、玄関入り口の混雑を緩和し3密を回避することができる。テント大小2張は、室内活動と野外活動を併用することで室内の密状態を緩和できる。

このような機器の活用を行うことで、施設利用者、職員及び関係者への感染対策となり、安心して利用できる施設運営ができると期待する。

3 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人諫早なかよし村 2 1

(トクテイヒエイリカツドウホウジンイサハヤナカヨシムラニジュウイチ)

住 所： 〒854-0001 長崎県諫早市福田町38-28

代 表 者： 理事長 古川 利光 (フルカワ トシミツ)

担 当 部 署： 事務 (ジム)

担 当 者 名： 事務主任 山本 レイコ (ヤマモト レイコ)

電 話 番 号： 0957-21-6050

F A X： 0957-21-6056

E - m a i l： qqy44cz9n@shore.ocn.ne.jp

U R L： <https://www.isahaya-konoyubitomare.jp/>